

1. 近月の活動

9月22-29日「アフリカ開発のためのハイレベル会合(22日)、国連本部でのミレニアム開発目標(MDGs)に関するハイレベル会合(25日)、ラウンドテーブル2、教育と保健」へストップ結核パートナーシップ日本代表として同団体常務理事、日本リザルツ事務局長白須紀子が参加した。

10月4、5日「グローバルフェスタ2008」(日比谷公園)へブースを出展、4日には「アドボカシーNGOとは?」と題し、アドボカシーNGOとその歴史についてリザルツのワークショップを実施した。世界50か国で10月3日より一斉放映されたジェームス・ナクトウェイ氏(アメリカの報道写真家、受賞歴多)の超多剤耐性結核(XDR-TB)の実情を撮影したTEDプロジェクトの未公開映像をメインステージで放映した。



リザルツワークショップ(グローバルフェスタ)



WHOラビリオネ氏、国民議会 マルティネス氏ら(TEDイベント)

日本リザルツから白須、木元が国際結核肺疾患予防連合(IUATLD)会議へ参加のためパリへ出張。IUATLD会議(10月16-20日)後に開催されたアクション(リザルツの結核プロジェクト)パートナー会議へ出席した。16日にはパリモンパルナスにてTEDプロジェクトのイベントをフランスのリザルツパートナーと共に開催した。WHOのストップ結核部部長マリオ・ラビリオネ氏、フランス国民議会議員アンリエット・マルティネス氏、HIV/AIDS活動家ルーシー・シェジレ氏らが参加した。XDR-TBなど新たな結核の脅威に立ち向うため、国際社会の協力を訴えた。17日にはIUATLDの授賞式があり、秩父宮妃殿下グローバルメモリアル結核賞が日本リザルツ理事長である島尾忠男氏よりカナダリザルツ理事でアルバータ大学教授のアン・ファニング氏に授与された。

2. マンスリーミーティング

8月22日に、「日本の国際保健協力と結核」というテーマでミーティングを開催した。最初に、日本リザルツのメディア担当でストップ結核パートナーシップ日本(STBJ)事務局長兼務する鈴木から、アドボカシー活動とストップ結核パートナーシップ日本について話があり、つづいて日本結核病学会理事長森亨氏から、結核に関する国際協力とG8、TICAD IVのフォローアップとして7月24、25日に開催された国際結核シンポジウムについてお話頂いた。参加者は全体で約30名であった。

9月10日は、「はじめよう!世界を変える、社会を明るくするボランティア活動」というテーマで開催したところ、約20名の方が参加された。ボランティア経験のある参加者より、始めたきっかけ・感想などを伺った。「ボランティアを始めたいけど何をしたらいいのか」、「どのような種類のものがあるのか」といった参加者の疑問もお答えいただいた。

3. ストップ結核パートナーシップ日本 (STBJ) の活動

STBJが発足して11月19日で1年になる。7月から結核啓発の公共広告機構CMキャンペーンがスタートし、若干ながら一般の意識が変わりつつあると思う。活動の一環として、一般企業に対してパートナーシップへの参加を呼びかけているが、実際のところ反応はすこぶる悪い。「結核？なんで結核なんですか？」こんな反応がほとんどだ。しかし、ごくまれに広告を見た担当者に恵まれると、少し反応が変わってくる。話を聞いてみようという気持ちになるらしい。さて、STBJのパートナー団体の一つに日本患者同盟という団体がある。結核患者のための活動を戦後以来続けている、歴史ある結核業界の雄である。その設立者である小島貞夫さん(90歳)が今年9月8日に亡くなられた。小島さんは、日本で初めてとなる日本患者同盟を組織され、国民病と言われた結核患者救済のために活動を続けてこられた。日本患者同盟は今年6月で60周年を迎え、記念の大会では小島さんも元気な姿を見せていらした。60年間という長い期間、一身に活動を続けてこられたことには、ただただ頭が下がるばかりだ。STBJはようやく1年目を終えるが、1年続けるにもいろいろと苦労はあった。しかし小島さんにとってみれば、1年という時間は、STBJにとっての1週間程度のものだ。「まだ何もやっていないじゃないか、何か分かったつもりかい？」そういったところだろう。ひたむきに2年目に突入したい。合掌。

4. パートナーの活動: 「国際連帯税」

貧困・気候変動などの地球規模で扱われる問題への対策資金を生み出す為の革新的資金開発メカニズム(IFM)構想の一つ。今まで国ごとに考えてきた税制を地球規模で考え、国境を越えた経済活動に課税(航空券税・炭素税等)し、その税収を途上国の開発支援などに使用することを目的とする。2002年の国連開発資金国際会議でMDGs達成の為にIFMが検討された。大きな取り組みとしてはIFMに関する国際会議、UNITAID(国際医薬品購入ファシリティー-)2006年9月発足等があげられる。現状として、日本においても議員連盟の創設、また日本政府も「連帯税に関するリーディンググループ」へ参加をするなど、国際連帯税への取り組みが活発化している。日本リザルツは、オルタモンド、世界の医療団と協同しUNITAIDのPR、議員連盟の創設等を通し国際連帯税の提言活動をしている。詳しくは:オルタモンド(<http://altermonde.jp/>)参照。

シンポジウムのお知らせ 「国際連帯税」東京シンポジウム 2008～日本での実現をめざして！～

日時:11月23日(日)10:30-16:40 場所:東京税理士会館開催

キーノート・スピーチ: 寺島実郎氏 (財)日本総合研究所会長、(株)三井物産戦略研究所所長

主催: 国際連帯税東京シンポジウム 2008 実行委員会 参加申し込み先: global-tax@mail.goo.ne.jp

5. お知らせ

今月のマンスリーミーティングを11月15日(土)14時に新オフィスにて開催。内容は「法律によって貧困層の権利を守る」というUNDP(国連開発計画)の報告書について話しあう。又、19、20日には実際に国会議員に会いアドボカシーを行うことを目的とした「アドボカシーツアー」を開催予定。リザルツHPをご覧ください。

事務所移転

2008年11月事務所移転いたしました。

101-0062 東京都千代田区神田駿河台2丁目11番16号さいかち坂ビル4階403号室

TEL: 03-5280-2888 FAX:03-5280-2889

最寄駅: 三田線水道橋駅出口A1・2 出口より徒歩3分

JR 水道橋駅東口徒歩3分